

福祉サービス第三者評価 共通評価基準 自己評価シート① 基本情報

◆自己評価シート①「基本情報」（本シート）、自己評価シート②「自己評価表」をご記入ください。

【基本情報】

①施設・事業所情報

名称：明照保育園	種別：保育所
代表者氏名：静永賢瑞	定員（利用人数）： 80名
所在地：滋賀県甲賀市信楽町長野998番地	
TEL：0748-82-1053	ホームページ：ホームページ：http://www.ans.co.jp/n/meisho/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 大正13年9月10日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人おさなご会	
職員数	常勤職員： 16名 非常勤職員 6名
専門職員	（専門職の名称） 2名
	園医
	歯科医
施設・設備の概要	（居室数） 25 木造平屋建て延べ床面積834.90㎡ 屋外遊技場 579.50㎡
	（設備等） 乳児室・ほふく室・調乳室・沐浴室・保健室・遊戯室・調理室・子育て支援室・トイレ・廊下 その他

②理念・基本方針

- ◆人格形成の基礎となる乳児期に、自然の中で色々な遊びを経験し健康な心身を培う
- ◆情操教育環境で心豊かに、友だちとともに、生きいきと遊んだり、生活できる子どもを育てる
- ①佛：自分らしさが発揮できる子どもの育成(明るく)
- ②法：善し悪しの分別ができ、節度ある子どもの育成(正しく)
- ③僧：誰でも友だちになり仲良く遊べるこどもの育成(仲よく)

③施設・事業所の特徴的な取組

仏教保育綱領を精神として生命尊重(慈心不殺)、正しきと見て絶えず進む(佛道精進)、良き社会人となる(正業精進)を軸とした仏教保育を行う。
PDFデータを添付しています。別紙参照

④第三者評価の受審状況

評価実施期間	年 月 日（契約日） ～ 年 月 日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	回（ 年度）

【自己評価の実施】

①担当者

担当者 静永 彩

②自己評価の実施体制等

職員各個人の自己評価(保育士・事務員・給食職員)を各学期末に実施（年間3回）
施設長、副園長、主任保育士、副主任保育士(幼児保育主任・乳児保育主任2名)による合議 1回2時間の会議により評価

③課題等

自己評価を実施したうえで全体に関する課題や疑問などがありましたらご自由にお書きください。

実務としては園運営に必要な保育業務や保育計画及び内容の振り返りなどを実践として行っているものの、それらに関する適切なマニュアルの整備ができていないところが課題である。各保育者の主観により保育園としての保育の質の維持に影響がないよう、早急に必要なマニュアルや規程については策定することとする。
また、保育内容として長年継続してきた園独自の文化や保育内容を大切にしながら子ども主体の保育へと切り替えていくことを意識しながら、少しずつ現状の保育を見直し、子どもの最善の利益を重視した保育の実践が可能となるよう日々努力したい。
年々、園児数の減少傾向は続いており、今後更に拍車のかかる少子化を踏まえて地域社会の子育て支援の拠点として保育園がどう存在し続けていくか、課題も大きいものがある。保育園内だけの問題とせず、地域で話し合い社会に貢献できるよう求められるニーズに応じていけるようにしたい。

保育所サービス評価結果記入様式

【自己評価の実施にあたって】

- 評価結果は、「自己評価結果欄」のドロップダウンから選択してください（「a・b・c」）。
- また、その判断した理由・特記事項等を「判断した理由・特記事項等欄」にご記入ください。
- 「評価の着眼点」についても「☑欄」のドロップダウンから選択してください（「□・☑」）。
- 認定こども園が評価を行うにあたっては、各項目の「保育所」を「認定こども園」と読み替えてください。

【共通評価基準】

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		自己評価結果	☑	評価の着眼点（該当する場合は□にチェック）
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	☑	ア 理念、基本方針が文書（事業計画等の法人（保育所）内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等）に記載されている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 理念は、法人（保育所）が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人（保育所）の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
	・理念や基本方針は、職員会議をはじめ、職員室壁面での掲示や施設の設備加藍（仏間仏具）への反映、更に利用者に対しては入園前の保護者説明会において十分に説明を行っている。また、定款を含め、全体的な計画や園通信物にも明文化を行っている。また、永年による事業の積み重ねにより、信楽地域や甲賀市内においても保育園の立ち位置については理解されていると感している。		☑	ウ 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。
			☑	エ 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。
			☑	オ 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。
			☑	カ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。
			☑	キ 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。（保育所）

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		自己評価結果	☑	評価の着眼点（該当する場合は□にチェック）
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	☑	ア 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
	少子化が進む中で、地域における出生率の低下は懸念されるところであるが、市町と今後の保育事業の展開を含めて動向を相談しながら事業計画の展望を持っている。経営状況については顧問会計士による月次監査、経営分析等から改善点や課題を明確にして安定した経営を目指している。		☑	ウ 子どもの数・利用者（子ども・保護者）像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人（保育所）が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
			☑	エ 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	☑	ア 経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 経営状況や改善すべき課題について、役員（理事・監事等）間での共有がなされている。
	直近の経営課題は園舎改築・増築に伴う多額の借入金返済であるが、毎年度計画的に償還できている。また、人材確保は毎年の課題であるが、同時に人材育成の課題も含むため、保育人材の離職を防止しながら定着を図れるように働きやすい職場環境を模索している。		☑	ウ 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
			☑	エ 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		自己評価結果	☑	評価の着眼点（該当する場合は□にチェック）
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	☑	ア 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標（ビジョン）を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
	・市が策定する子ども・子育て支援計画の情報を基本に子ども人口の推移に注意を払いながら、施設形態の変更等、公立保育園の有り様に左右される為、今後協議が必要と思われる。		☑	ウ 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			☑	エ 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	☑	ア 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
	・将来的なビジョンから、具体的な実行項目を下して数年にわたる事業計画の中で目標達成できるように取り組んでいる。		☑	ウ 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
			☑	エ 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は口)にチェック)
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しを組織的に行われ、職員が理解している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。
・法人役員や評議員など上部組織者において共有されている事業計画は職員会議の場において末端の職員まで周知しており、事業計画等の把握や評価、見直しの情報が行き届いている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)がされており、理解を促すための取組を行っている。
7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b	<input type="checkbox"/>	ア 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
法人全体の事業計画までは周知できていないが施設が提供する保育に関連する必要な内容説明については利用者に対し理解を求め周知に努めている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は口)にチェック)
8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。
定例の園内研修(毎月一回)では各クラス経営についての話し合いの場を持ち、子どもの処遇について園全体で共有している。また、昨年度より取り入れた事例研修(子どもと保育を語る会)を実施し、各クラスより議題を挙げて課題解決の話し合いや保育内容・保育環境の向上に務めている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員間で課題の共有化が図られている。
年度末に一度全職員にアンケートを採り、園の課題や組織運営に係る疑問点や改善点について各個人の意見反映の機会を作っている。また、職員の意見を元に次年度の研修内容や研究計画に反映させて課題の改善に取り組んでいる。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は口)にチェック)
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。
毎月の職員会議の場で、指示伝達を行い園長の保育所運営に関する方針を明確にしている。また、毎月発行の園便りには自身のコラムを掲載し、日頃から保育方針の根幹である仏教をわかりやすく説き、職員だけでなく広く地域住民や保護者に対しても園の保育事業への理解について説明している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。
厚労省などから発出される法令の変更や新しく義務づけられることなどは常に把握する努力をし、福祉や保育を取り巻く情勢にも自主的に学びの姿勢を持って取り組んでいる。また、保育三団体などの保育組織にも属して役職を担うなど、最新の保育行政事情にも精通しているため、園職員にもいち早く情報共有を行っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
	既存の保育にとどまらず、最新の保育事情について理解を深めるよう研修に参加するなどして研鑽を積んでいる。また、職員の意向や思いに耳を傾けられるように、定期的な面談や自己評価への取り組みと振り返り、更に職員研修の充実が図れるように内容については毎年改善を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。
	毎月の月次監査から、現状の経営状況を把握し、顧問会計士の助言などを参考にしながら、より良い経営になるように努力している。改善点については、現場の状況と意見を踏まえた上で、より生産性が上がるように体制を変更できるところは取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理体制が整備されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
	中長期的なスパンで、今後の少子化が進む地域の保育ニーズについても分析をし、必要な保育人材を確保するようにしている。働きやすい環境作りを心がけているが、明確な計画は未だに策定されておらず、今後の課題である。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 法人(保育所)の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。
	評価についてはこれまでの課題を踏まえて、一定の基準を設けて評価項目をチェックできるようにした。しかしながら、採用や配置、昇級等に関わる考課制度として明確なものは未だ策定されていない。早急に当園独自のものを策定できるようにしたい。次年度中の策定を計画している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 職員の就業状況や意向の把握等にもとづき労務管理に関する責任体制を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
	各職員の職務状況だけでなく、背景にある家庭の状況などについても日頃よりコミュニケーションを取りながら把握するように努めている。また一人一人の職員の思いや考えを正確に把握・対応するため、面談時等に悩み事や困り事がないか聞き取っている。常時、余剰の人員確保が難しい状況にあるが、本年度はフリーの立場で職務に従事する職員も確保できていた為、以前に比べて有給や代休が取得しやすい状況もあった。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に職員との個別面談の機会を設ける。職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が 確立されている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。
	一人ひとりの将来的な希望や方向性を理解した上で、適切な研修機会を与えたり、目標設定ができるように話し合いを持っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
	各個人の目標設定については年度当初に行い、年度末には自己評価とともに振り返り、その後面接を行い各個人の目標達成度合いについて確認をしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要なとされる専門技術や専門資格を明示している。
	現場の声を反映した研修計画となるように、年一回のアンケートを実施して計画に反映している。全体研修に加え定期的な園内研修、また現場からの課題報告に則した保育研究機会の確保が実現し、職員の心理的な側面からも有効に働いたと実感している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に計画の評価と見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
	どの職員についても、研修機会が設けられるように配慮して研修を行っている。外部の研修については時期等が年度に入ってからでしか計画できないが、保育団体や行政等の研修機会を逃さないようにしている。また、キャリアアップ研修については役職の辞令が出ていることから、研修費用などの支出については園負担で研修できる様に配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の 研修・育成が適切に行われている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	<input type="checkbox"/>	ア 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。
	今年度は実習生の受け入れがなく、実例として育成に関わることの機会が得られなかった。後進育成のため、受け入れを行う際には、配慮して実習生のオリエンテーション、指導、記録簿記入などを職員が分担しながら行っている。明確なマニュアル策定を行うと共に、指導者の心得等を研修し取り組めるよう改善していく。		<input type="checkbox"/>	ウ 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。
			<input type="checkbox"/>	エ 指導者に対する研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が 行われている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
	法人運営詳細については、ホームページにも明記しており公に向けて適切に公開している。保育園の基本理念についてはホームページの他、保育園の保護者会より、毎年発行されている誌面中にも明文化しており、保護者を通して広く地域住民にも知られるところである。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人(保育所)の存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
	保育園運営について記載されている運営規程や就業規則は閲覧可能となっており、職員室の中に置かれている。また、年度初めの職員会議において全職員に向けて各人の役職・職務分掌は示され周知されている。経理・事務については月一回の月次監査を実施し、顧問会計士により第三者からのチェックを行っている。毎回経営状況についての評価を受け、課題については改善に向けて取り組みを図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。
	事業計画において地域との交流は多方面の団体等と計画的に実施されている。コロナ禍の為、例年と同じように規模の縮小や簡略化は避けられなかったが、今後は実施の必要性も高まってくると考える。今年度も学生ボランティアの受け入れはなかった。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
24	② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
	今年度もボランティアの受け入れがなかった。ボランティア活動受け入れについて、配慮すべき項目などが記載されているマニュアルの策定がまだなされていない。		<input type="checkbox"/>	ウ ボランティア受け入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している
			<input type="checkbox"/>	エ ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 学校教育への協力を行っている。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
	他機関との連携は、保護者ニーズに応じて連携を図り、定期的な園訪問による園児の状況についての聞き取りや、園児の観察や発達相談が行われている。実施など情報共有を行い連携を密にしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
	ケース会議で得られた情報については、職員間で共有し、共通理解のもとで同じ関わりで支援が行える体制をとっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域に適当な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。(保育所)
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		自己 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所のスペースを活用して地域の保護者や子ども等との交流を意図した取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所の専門性や特性を活かし、地域の保護者や子ども等の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。
	地域における子育て支援の拠点となるように、長年未就園児を対象にした交流会を計画・実施の方向であったが、園内でコロナのクラスターが発生したことにより、年度途中で引き続き中止とせざるを得ない状況となった。地域の商店街や、地域産業に携わる芸術家や近くの美術館、学校などと共に交流を持ったイベントへの参加などを行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の専門性や特性を活かした相談支援事業、子育て支援サークルへの支援等、地域ニーズに応じ地域の保護者や子ども等が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 災害時の地域における役割等について確認がなされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。
27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
	地域の民生委員や児童委員、子育て支援センターなどの地域資源となる団体等と年一回の子育て応援団会議を持ち、それぞれが把握している情報共有を図っている。保育園の自己資金により建て増した保育室を利用し、ECGジュニア課外教室を保育園を利用する園児だけでなく、地域の小学生も対象にしたクラスを開講している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 地域住民に対する相談事業を実施するなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	子どもの人権尊重については園内研修においても全国保育士会の発行している資料を用いて不適切な保育とならないように、具体的な言葉がけや接し方について理解を深める機会を持っている。また、自己評価として年間3期に分けて定期的に自らの保育を振り返る機会を設けている。今年度は保育業界の不祥事が取りざたされることが多かったが、その都度他園の問題点から、自園の保育を振り返る機会を持ち、職員間でも話し合いを持つようにしてきた。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。(保育所)
29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
	昨年度は改善点があったが、マニュアルなどを策定、保護者にも周知して保育を行うことができている。また、園内研修などでも、マニュアルの内容について解説をし、全職員が同じ理解のもとで保育業務に当たれるように配慮している。保護者支援や保護者対応の場面では、個人のプライバシーが守られるように話の内容により個室へ案内するなどの配慮を行っている。個人情報情報の漏洩には厳しく管理し、不適切な取り扱いのないように注意して保育が行われている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、利用者のプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子ども・保護者にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 規程・マニュアル等にもとづいた保育が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。
	入園申し込み期間までに地域の子育て世代の保護者からは連絡をもらうことが多いが、園見学を希望される方については快く受けようとしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。
	また、見学時には時間を確保し、園環境だけでなく、保育内容や園行事なども参考資料を提示しながら丁寧に説明を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 見学等の希望に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。
31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。
	保育園入園前に入園説明会を実施し、入園のしおりを資料としてお渡ししそれに沿って保育園生活に必要な準備物や園行事や保育時間、保育内容などについて詳細に渡って説明を行っている。また、緊急時の対応や災害時の避難計画を含めた安全計画にも解説し、ICT上でもマニュアルや指導計画などがいつでも確認できるように公開している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。
32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		自己 評価結果	☑	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
33	① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a	☑	ア 日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。(保育所)
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。(保育所)
	昨年度まで取り組みができていなかった保護者への満足度アンケートを実施した。保護者のニーズや苦情など様々な声を把握する事が可能となった。また、保護者よりいただいた意見については全てまとめた冊子をICT、玄関等で公開し情報の透明化を図っている。寄せられた意見、苦情に対しては真摯に向き合い、自己評価委員会で議題に取り上げ、今後の保育内容の改善を図っていきたい。		☑	ウ 保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。(保育所)
			☑	エ 職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会等に出席している。(保育所)
			☑	オ 利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。(保育所)
			☑	カ 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。(保育所)
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見を述べやすい体制が確保されている。		自己 評価結果	☑	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	☑	ア 苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。
	苦情解決組織については保護者アンケートで知っているか確認したところ、知らないと応えた保護者もあった為、来年度の入園のしおりに改定してよりわかりやすい標示にすると共に、第三者委員の連絡先なども記載し、苦情の申し立てがしやすいように配慮した。また、アンケートは無記名記入方式を採用し、保護者が気持ちの面で意見を述べやすい様になっている。結果については全てとりまとめた上でオンラインでも、紙媒体でも確認できる様に配慮して公開している。		☑	ウ 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
			☑	エ 苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管している。
			☑	オ 苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。
			☑	カ 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。
			☑	キ 苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
35	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	☑	ア 保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
	苦情解決組織について、入園のしおりに記載する他、口頭説明を行う。また、相談先については随時受付ける旨を伝えている。		☑	ウ 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。
36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	☑	ア 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。
	保護者から相談や意見を受け付けたときには、速やかに上層部への報告を義務づけると共に、内容により迅速な対応が求められる事項については、改善する必要性の高いものから優先して対応している。特に安全配慮が求められることや、社会事象として関心の強いトピックの取扱にはタイムリーに改善できる様に心がけている。		☑	ウ 職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。
			☑	エ 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。
			☑	オ 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			☑	カ 意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		自己 評価結果	☑	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	☑	ア リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
	リスクマネジメント規程、事故対応マニュアルに則り、事故発生時や日々の保育中に確認されたヒヤリハットについては迅速に対応できる様にしている。		☑	ウ 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
	万が一事故が発生した場合には必要に応じて保護者連絡、病院搬送、保育の継続、事故発生経過記録を記入する他、重大事故については所管の甲賀市を通じて県にも報告をするようにしている。また、年間2回程度安全対策委員会を持ち事故の検証と再発防止対策を講じ、対応については全職員が共通理解を図るようにしている。		☑	エ 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
			☑	オ 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			☑	カ 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。

38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
	新型コロナウイルス感染症をはじめとした感染症予防については年間を通して消毒・手洗い、うがいの励行などの予防策を講じている。園内研修などで職員にも新しい情報や対応についての情報共有や研修機会の場を持っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	担当者等を中心として、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	感染症の予防策が適切に講じられている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	キ	保護者への情報提供が適切になされている。(保育所)	
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	災害時の対応体制が決められている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。
	非常災害対策マニュアル(避難確保計画)に沿って年間の災害訓練を実施している。今年度は保護者への引き渡し訓練で保護者を含めた訓練の実施や避難場所の提供を受けるなど地域住民にも協力をお願いし非常災害時の対応について共通理解を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。	

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	標準的な実施方法が適切に文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。
	標準的な保育の実施にとどまらず、長年の保育実践により明照保育園独自の保育内容を展開している。また、常に新しい情報にも触れていけるように年間通して職員研修の機会を大切にしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。(保育所)	
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。
	各保育者、職員全員に自己評価を年間3回実施し、自己の保育や仕事の達成度や改善点が明確になるように取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	指導計画策定の責任者を設置している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。
	園の全体的な計画から各々の指導計画に反映させて策定しているが、アセスメント手法の確立等仕組み化については不十分なところがあるので、各保育士個人の力量によりバラツキがある。早急に指導計画の策定の手法や振り返り、評価についての仕組みを作り上げるように対応したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育課程にもとづき、指導計画が策定されている。(保育所)	
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。(保育所)	
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	計画の策定にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。(保育所)	
		<input checked="" type="checkbox"/>	キ	指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。(保育所)	
		<input checked="" type="checkbox"/>	ク	支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。(保育所)	
43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b	<input type="checkbox"/>	ア	指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。
	指導計画は年度の切り替えにおいて必ず見直し、子どもの実態に合わせて保育内容に反映されるようにしている。上記と同じになるが組織的仕組みを定めていないため、改善点として捉えている。		<input type="checkbox"/>	ウ	指導計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は口をチェック)	
44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。
	個々の子どもの姿については定時開催の職員会議及び園内研修時に園児の処遇会議として情報が共有されている。個別の指導計画については園内個人情報管理マニュアルに沿って適切に管理されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。
45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。
	個人情報の取扱いについては厳重に管理している。入園説明会では個人情報の保護マニュアルに基づいて管理される旨を説明し、保護者等利用者にも公表され、同意を得ている。児童票、保育園における個別の生活記録等は全てICT化され、クラウド上で管理されている。園のネットワーク環境についても外部への通信および外部から侵害もないようにセキュリティ機能を高めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	記録管理の責任者が設置されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。

【内容評価基準】

IV-1 保育内容

IV-1-(1) 全体的な計画（保育課程）の編成		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点（該当する場合は□にチェック）
46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画（保育課程）を編成している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 全体的な計画（保育課程）は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとりあて編成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 全体的な計画（保育課程）は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。
	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的な計画は、自園の理念（仏教保育）や方針、目標に基づき、子どもの最善の利益を考慮して作成している。 ・地域の実態や社会情勢、時代の流れに即して見直しと改善等を行い、また保護者の意向をふまえながら編成に努めていくようにする。 		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 全体的な計画（保育課程）は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 全体的な計画（保育課程）は、保育に関わる職員が参画して編成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 全体的な計画（保育課程）は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。
IV-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点（該当する場合は□にチェック）
47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も一年を通して新型コロナウイルス感染症の流行拡大に懸念しながら保育を行った。保育室や玩具は安全と衛生に十分留意し、室内の温度・湿度・換気には日々気をつけ、生活やあそび・活動に適した空間を確保している。 ・保育室内外の用具や遊具、設備の安全点検と保育にかかるヒヤリハットの確認も月2回行い、不測の怪我や事故防止に努めている。 		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。
48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。
	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議や園内研修等の中で、子ども一人ひとりの発達や特徴、成長について共有確認して園全体で保育をすすめている。 ・一人ひとりを尊重し自分の思いや欲求が出せる雰囲気や関わり、言葉かけを行い自己発揮がしやすい環境作りに努めている。 		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ せかせや言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。
49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の育ちや発達年齢に合わせて、基本的な生活習慣を身につけること、集団生活で社会性を身につけることを職員が共有して、保育を行っている。 		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。
50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。
	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的な計画や年齢に合わせた指導計画に基づき保育をすすめているが、仏教行事の他に季節の行事や年間の行事等が多くあり、保育士主導ですすめていたり、活動が設定保育となりがちであったりする事も多い。 ・生活は、年齢とともにまた個々に一年を通して積み上げて主体的に行えるようになるが、あそびの環境も子どもが主体性を持って自発的にすすめられるように整えていくようにする。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の懸念より、地域の人たちと触れ合う機会が減少する。感染予防をとりながら自然に触れる機会を大切に、年3～4回の田んぼ活動を地域の協力を得て経験したり、年度末の発表会等で表現する楽しさや意欲を持ってやり遂げる活動も取り入れている。 		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 生活と遊びを通して、友だちなど人間関係が育まれるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ケ 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	コ 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。

51	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に ⑤ 展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。
	・0歳児が安心安定して過ごすことができる環境を整えとともに、愛着関係を持ち情緒の安定が図れる保育士配置を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの表情を大切に、応答的な関わりをしている。
	・途中入園児も多いが家庭と密に連携しながら、1歳児保育士とも連携共有し養護と教育の展開をはかる。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。
52	3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	探索活動が十分に行えるような環境を整備している。
	・個々の発達や年齢に合わせたあそびを十分に保障しながら、応答的な関わりをしたり自我の育ちを見守ったりし、一人ひとりを尊重して保育をすすめている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。
	・基本的生活週間を身につけながら乳児期から幼児期への繋がりをなめらかにし、身体運動機能の発達と社会性の基礎を培うことを重点においている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育士等が、友だちとの関わりの中立ちをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。
53	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	・基本的生活習慣の自立と集団生活に於いて社会性を育み、養護と教育的視点をもった保育展開をすすめていく。年齢に沿ったあそびを通して自己発揮することができるようにまた就学に向けて望ましい態度が身につくように取り組みを行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。
54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。
	・関係機関と連携共しながら、障害のある子どもが安心して生活できる環境を整えている。子ども同士の関わりや一緒に活動に参加できる内容や保育をすすめ、相互の成長を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要は知識や情報を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。
55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。
	・長時間の保育を利用する児に於いて、安心して過ごせる環境の中で職員配置を行い、視覚教材等も用いながら保育を行う。保護者連絡は引継ぎのもと、漏れることのないよう注意し、担任以外の職員が責任を持ってあたることもある。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
	・長時間保育のなかで異年齢であそぶ機会もあるが、毎日同じ玩具で遊んでおり、様々な玩具の準備や遊び方を見直したり、子どもたちの主体的なあそびができるように見直す必要がある。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。

56	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。
	・小学校への接続は、コロナ禍ではあったが、学区内の小学校5年生や1年生との交流や連絡会、町内の小学校を含めて保小の接続会議を持っている。連絡会では卒園児の育ちや家庭環境等も共有し就学に向けて伝達し、各機関との連携や保護者との相互理解も行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者が、小学校以降の子どもの生活について見通しを持てる機会が設けられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。
IV-1-(3) 健康管理		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。
	・昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止のため毎日検温表を保護者に依頼し、手洗いうがいの励行、手指や室内環境の消毒、換気等に努めた。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの保健に関する計画を作成している。
	・年2回の内科検診と1回の歯科検診、また月1回の身体測定・清潔検査も行っている。感染症流行時の「保健だより」の発行と、新型コロナウイルス感染症罹患の場合等について保護者に周知し、市への報告等マニュアルに沿って行う。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。
	・子どもの怪我や事故に於いて、月2回の安全点検とヒヤリハットに意識を向けるが、職員の日々の煩雑さからくる不注意、職員の連携不足による見落とし等、防ぐことができた事例も見られた。		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。
58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。
	コロナ以前のような親子ブラッシング教室などは、未だ中止となっているが、視覚教材などを使用してクラスで歯磨き指導歯科の衛生について話している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	家庭での生活に生かされるよう保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。
59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	・アレルギーを持つ児への配慮として、給食提供は特に注意喚起を行う。個に合わせてアレルギー食の提供を行うにあたり、家庭・医師(病院)との緊密な連携と園内職員(給食室・保育担任等)の共有・情報確認を十分に行いながら、誤食防止に努める。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要は知識・情報を得たり、技術を習得している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。
IV-1-(4) 食事		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。
	・自園給食を行い食材は地場のを優先に利用し安全・安心の食材、調味料をできるだけ使用するようにしている。子どもたち自身が、育て、収穫し、食べる喜びを味わう食育を保育活動において大切にし、保護者の保育園利用度アンケートにおいても、自然とのふれあいや栽培活動に満足する回答がみられた。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。
	・コロナ禍に於いて、アクリル版を立て給食を食べている。楽しく和やかな雰囲気の中で食事は難しい所もあるが、個々の食事量を見極めながら年齢にあわせて咀嚼や嚥下ができるように、また望ましい食生活やマナーが身につくように指導援助を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食器の材質や形などに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。

61	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。
<ul style="list-style-type: none"> ・年齢にあわせた可食量を基本に配膳を行い、「美味しい・楽しい」と食事経験から心身の安定を目指しているが、食に興味に向かない児や喫食に時間がかかる児もみられる。 ・給食だよりの配布や食事に関する保護者アンケートを実施し、食についての心配事、食事のマナーや食具の使い方等家庭とともに連携協力していけるようにしている。 			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	残食の調査記録や検査簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	季節感のある献立となるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	地域の食文化や行事食などを取り入れている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。

IV-2 子育て支援

IV-2-(1) 家庭との緊密な連携		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)	
62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携は、日々の登降園時での話や電話のほかに、園児管理システム(ICT化)と個別の連絡帳(3歳以上児は希望者のみ)の利用により、職員間で共有している。 			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。
IV-2-(2) 保護者等の支援		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)	
63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築く取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者等からの相談に応じる体制がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・日々家庭との連携を持ち、コロナ禍ではあるが年間1回の個人懇談会や随時面談を行う。 ・年間行事は予定表を年度初めに配布し、保護者が参加しやすいように日程を前もって知らせたり、保護者会活動も感染対策をしながら年間を通して行なわれ、保護者会役員を中心に園行事や保育活動に参加協力を頂いている。 			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	相談内容を適切に記録している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。
64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	虐待等権利侵害の可能性がある職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活が気になる児において、登降園時にできるかぎり保護者と話をするようにし、子どもからは話を聞いたり目立った姿がないか気をつけるようにしている。 ・子育てがしにくいと感じている保護者が虐待に向かないように園全体で共有し見守り、各関係機関と連携している。 			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	マニュアルにもとづき職員研修を実施している。

IV-3 保育の質の向上

IV-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)	
65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。
<ul style="list-style-type: none"> ・全体的な計画と年間指導計画、月案週案に沿って保育をすすめる、学期毎に自己の評価反省と年度末に園の評価を行う。 ・スキルアップの研修や職責に応じた研修を重ねてより専門性を保育に生かし各自において自己研鑽に努めるが、行事計画等の見直しをはじめ、自園の保育の特色を活かしつつや保育内容を見直し改善に努めていくようにする。 			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保育士等の自己評価を、定期的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。

サービス改善計画書

策定日：令和 5年3月17日

事業・サービス名：保育所

施設・事業所名：明照保育園

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責任者	備考（必要な予算等）
Ⅱ-2-(4)	b	実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアル策定などの整備ができていない	実習生等の研修・育成マニュアルの策定を行う	できるだけ次年度中に策定する	副園長・主任保育士	
Ⅲ-2-(2)	b	適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されていない（各保育士の主観により評価、作成されている。評価者の主観により評価などが変わる懸念がある）	アセスメント手法の確立などの組織的な指導計画の振り返りや評価が適切に行える仕組み作りを行う	できるだけ早い段階で策定できるようにする。次年度又は翌次年度	副園長・主任保育士	
Ⅳ-1-(2)	b	長時間保育、延長保育における遊びへの工夫、配慮が求められる（一定の環境で保育が進められている。子どもの主体性が保障される環境づくりを行う必要がある。）	長時間保育、および延長保育時間の遊びの環境を整える。 ・玩具 ・資格教材の与え方 ・子どもによる遊びの選択の自由が保障されているか	・次年度開始より改善する	主任保育士、保育士	